2023年度　日本工学院八王子専門学校

声優・演劇科

応用演技Ⅰ

対象	２年次	開講期	前期	区分	選	種別	実技	時間数	60	単位	2
担当教員	長谷川浩司			実務経験	有	職種	俳優				

授業概要

演技者としての表現能力の向上を図るとともに応用力を学ぶ。

到達目標

自己表現の手法が多様化する現在の芸能界において、これから迎える新技術に対応していくべく、時代と共にある手法を体験しながら自分にとってどういった方法で自己表現が有効かを考え、実践できる能力を養い、セルフプロデュースを検討する。そして、それを形にするための手順や手法、技術を体得することを目標とする。

授業方法

個人ワークから始まりグループワークへ移行していく。演劇のメソッドとして、インプロビゼーションを取り入れつつ企画・構成を考えながら進める。自己の表現と他者の表現の違いを意識しながらよりよい表現方法を模索し、セルフプロデュース能力を育成。個人での企画制作とグループ単位での企画制作の相違点を理解し、一つのコンテンツを仕上げ、自己表現のあり方を習得することを目指す。

成績評価方法

積極的な授業参加、事前準備の有無、授業時間内に行われる発表内容について総合的に評価する。

履修上の注意

コミュニケーションを重視し、役割分担等、得意分野に限らず、主体的意思の元に行動し学ぶ姿勢を持つ学生を高く評価する。自らが考え、答えを導き出すことに重きを置き、積極的に参加することを求める。理由のない欠席は認めない。恒常的に出席することが基本原則である。課題として課する物の提出は必ずすること。授業時数の4分の3以上出席をしない者は定期試験を受験することはできない。

教科書教材

レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

回数	授業計画
第1回	ガイダンス
第2回	～第6回　身体訓練
第7回	～第13回　台本練習

2023年度　日本工学院八王子専門学校	
声優・演劇科	
応用演技Ⅰ	
第14回	発表
第15回	インプロビゼーションの基礎